日本聖公会東日本教区　**聖アンデレ教会**

管理主教 フランシス 長谷川清純　牧師 司祭 ステパノ 卓志雄
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698　電話礼拝 03-3431-0250
E-mail:st-andrew.tko@nskk.org　HP:www.st-andrew-tokyo.com

諸聖徒日(白) 2026 年 11 月 1 日

礼拝案内

✝ 午前 7 時 30 分　聖餐式
（午前 7 時 25 分　礼拝奉仕者の祈りの集い）
司式・説教：司祭 卓志雄
聖歌　205　303　202

✝ 午前 9 時 15 分
こどもとともにささげる礼拝
司式・お話：司祭 卓志雄
聖歌　205　303　202

✝ 午前 10 時 30 分 聖餐式
（午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い）
司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌　205
参入　1 頁(162 頁)
清めの祈り　1 頁(162 頁)
キリエ　3 頁(163 頁)
大栄光の歌　4 頁(164 頁)
特祷（諸聖徒日）

み言葉

第一朗読　シラ書〔集会の書〕　44 章 1-10,13-14 節
詩編　第 149 編
第二朗読　ヨハネの黙示録　7 章 2-4, 9-17 節
福音書前聖歌　454
福音書　マタイによる福音書　5 章 1-12 節
説教：　司祭 卓志雄
洗礼式聖歌　（前）278 1,2 /（後）1,3
洗礼式　別冊『入信の式』
代祷（週報 2 面）　12 頁(168 頁)
懺悔　13 頁(170 頁)

聖餐

平和の挨拶　15 頁(171 頁)
奉献聖歌　303
奉献
感謝聖別(Ⅰ)　16 頁(172 頁)
陪餐　24 頁(180 頁)
奉唱　オモニ連合聖歌隊
陪餐聖歌　262
感謝　28 頁(182 頁)
祝福　28 頁(183 頁)
派遣
退堂聖歌　202

✝ 午後 5 時 歌による夕の礼拝
司式 司祭 卓志雄
奉唱 ソウル・アングリカン・シンガーズ
詩 148,150 知 5:1-5,14-16 黙 21:1-4, 22-22:5
聖歌　32, 564

Ⅰ分典礼（礼拝 Q&A)(53)

11 月 1 日「諸聖徒日」と「諸魂日」

教会の暦では、11 月 1 日は「諸聖徒日（All Saints' Day）」です。この日は、キリストの福音のために生きた人々、苦難の中でも信仰を守った人々、殉教した人々、そしてすべての聖徒たちを覚え、神様に感謝して祈ります。翌日の 11 月 2 日は「諸魂日（All Souls' Day）」です。この日は、すべての世を去った人々を覚え、神様のみ手に委ねて祈ります。

教会は、先に天に召された人々を覚え、祈ることを大切にしてきました。私たちは、地上に生きる者も、すでに世を去った者も、時と場所、そして生と死を越えて、キリストにあって一つにつながっていると信じています。これが、私たちが信仰告白の中で唱える「聖徒の交わり」です。11 月は、この「聖徒の交わり」を特に覚える時でもあります。先に天に召された家族や友人、教会の仲間、信仰の先達を覚えて感謝するとともに、今を生きる私たち自身も、神様から与えられた命をどのように生きていくのかをあらためて考える時としたいと思います。

本日の代祷　＜敬称略＞

一同着席する。
執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事　救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう
※（　）内の*斜体*は音読しなくてもよい。

＜わたしたち教会‐全公会のため＞
代祷者　神よ、主の公会、ことに
［聖アンデレ教会
（*ステパノ　卓志雄司祭、トマス日髙馨輔執事*）］
わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、
教会に関わる諸団体
［東日本教区
（*管理主教　フランシス　長谷川清純主教*）］
聖アンデレ主教座聖堂（理事会）、
管理主教とすべての信徒・教役者のため、
教区会・常置委員会
［東日本宣教協働区（*北海道・東北・東日本教区*）］
浦和諸聖徒教会
［日本聖公会
（*首座主教　アシジのフランシス　西原廉太主教*）］
すべての逝去者のため、
「諸聖徒」を覚えて建てられたすべての教会・事業のため
［エルサレムおよび中東聖公会
（*ホサム・ナウム大主教*）］
アンマン　　老人の家
［全世界の聖公会］
中央アメリカ聖公会
［日本キリスト教協議会（*NCC*）の働き］
日本福音ルーテル教会
を強めて、み子のみ業を行わせてください。
すべての聖職と信徒、ことに私たちの管理主教
フランシス
を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください
会衆　主よ、お聞きください

＜平和と正義の実現のため＞
代祷者　神よ、すべての国の人びと、ことに、
ウクライナや中東、またイランに対するアメリカとイスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。
互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください
会衆　主よ、お聞きください

＜隣り人のため＞
代祷者　神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、
日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第 14 団、ガールスカウト東京都第 138 団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人びと、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、11 月の代祷・信施奉献先となっている働き・団体
ことに、「日韓友情献金」済州（チェジュ）教会・
西帰浦（ソギポ）教会の働き（*大韓聖公会釜山教区済州教会*）
東京子ども子育て応援団の働き（*東京子ども子育て応援団*）
アジア学院の働き（*(学）アジア学院*）
に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください
会衆　主よ、お聞きください

＜困難な状況にある人のため＞
代祷者　神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに
感染症の収束のため
［病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照］
世界および日本各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと
住む場所を追われた人びと、
自由を奪われ拘束されている人びと、
戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え主の救いの喜びに導いてください

会衆　主よ、お聞きください

＜逝去者のため＞
代祷者　神よ、世を去ったすべての人、ことに
　それぞれが覚える逝去者
［今週逝去の記念日を迎える人(＝別紙参照）］
　暴力や犯罪、災害の犠牲となった人
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください
一同　主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願いいたします　アーメン

---

10 月 17 日に開催された東日本教区第 3（臨時）教区会において主教選挙が行われましたが、当選者を得られず、来年の管区臨時総会に持ち越されました。

「聖公会モンゴルの森」プロジェクト ご協力のお願い

日本聖公会は、大韓聖公会と共に、砂漠化が進むモンゴルの大地に木を植える「聖公会モンゴルの森」プロジェクトに参加しています。豊かな自然を次の世代へ受け継ぐため、1 ヘクタール、約 1,000 本の植林を目標に協力しています。被造物を守ることも宣教の大切な働きです。この取り組みは、神・人・自然との和解を目指す宣教の実践であり、日本聖公会と大韓聖公会が共に歩む日韓協働の働きでもあります。
礼拝堂入口の掲示板に、写真とご案内を掲示していますので、ぜひご覧ください。　植林の目安は 1 本約 3,000 円です。金額にかかわらず、自由献金としてご協力ください。皆さまのお祈りとご支援が、モンゴルの大地に新しいいのちを育み、未来への希望をつないでいきます。

◇ 聖アンデレ教会広報の YouTube チャンネル「今、福音に聴く」では、卓志雄司祭によるマタイ福音書の最終回を配信しています。次回、ヨハネ福音書まで、今しばらくお待ちください。ご視聴は https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0 又は下の QR コードからお願いいたします。

広報チャンネル　インスタグラム　ホームページ　Facebook

〈お知らせ〉

◇ 本日10時半の聖餐式の中で洗礼式が行われます。また、ソウル教区の〝オモニ連合聖歌隊〞が奉唱してくださいます。

◇ 午後 5 時からの『歌による夕の礼拝』は、“ソウル・アングリカン・シンガーズ”のご協力により行われます。聖公会の伝統ある夕の礼拝と美しい聖歌とともに、祈りと音楽を分かち合う礼拝にどうぞご参加ください。
詳細については受付のチラシをご覧ください。

◇ 11 月 29 日から、聖餐式の陪餐の方法が変わります。詳細については、別紙をご覧ください。

◇ 11 月 2 日、3 日に教区墓地礼拝が行われます。受付の案内カードをご覧ください。

◇ 2027 年の聖公会手帳･カレンダーの購入をご希望の方は、所定の封筒に必要事項をご記入の上、お釣りのないように代金を入れて、受付の申込箱にお入れください。締め切り：11 月 8 日（日）厳守
なお、2027 年につきましては「教会歴日課表」の冊子は発行されません。

◇ 聖餐式聖書日課表（9 月～11 月）が、礼拝堂受付においてあります。お要りようの方はどうぞおもちください。

◇ **【聖書を学ぶ会】**毎月第 1 水曜日 13:30～開催しています。次回は 11 月 4 日（水）です。 現在、**土井かおる著『よくわかるキリスト教』（PHP 研究所、2004 年）**をテキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、教理、ならびに現代における課題について学びを深めています。多くの方の参加を歓迎し、この学びの時が、より豊かなものとされることを願っています。

◇ 聖書朗読（旧約聖書・使徒書）を分担しませんか
み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。受洗･堅信記念日･誕生日･結婚記念日･ご家族の逝去記念日などを迎える主日にぜひご奉仕ください。ご希望の方は聖堂受付け付近の表にお名前をご記入ください。

◇ 教会事務室のデスクでは、会計や個人情報を含む事務作業を行っています。個人情報保護のため、教務･会計デスクの周辺への立ち入りはご遠慮くださいますようお願いいたします。

◇ 「聖アンデレ教会オリジナル T シャツ」は完売いたしました。収益￥31,500 が教会に献金されました。ご協力ありがとうございました。

本日・今週の予定

11 月 1 日(日) 諸聖徒日
7 時半　聖餐式
9 時 15 分　こどもとともにささげる礼拝
10 時半　聖餐式 ・洗礼式
17 時　歌による夕の礼拝

・愛餐会　・13 時 45 分 BSSAC (ショウホール)

2 日(月)　7 時半礼拝
フィリ 2:1-4　詩 131　ルカ 14:12-14

・卓司祭在室（午後）
・10 時半 洗礼の学び
・教区墓地礼拝

3 日(火)　7 時半礼拝
フィリ 2:5-11　詩 22:22-27　ルカ 14:15-24

・教区墓地礼拝

4 日(水) フィリ 2:12-18 詩 27:1-6　ルカ 14:25-33

・10 時半 聖アンデレ教会 11 月逝去者記念聖餐式
聖歌：373, 390, 498
・13 時半 聖書に学ぶ会　・18 時 礼拝小委員会

5 日(木) 7 時半礼拝
フィリ 3:3-8a　詩 105:1-7 ルカ 15:1-10

6 日(金)　7 時半礼拝
フィリ 3:17-4:1　詩 122　ルカ 16:1-8

7 日(土)　7 時半礼拝
フィリ 4:10-19 詩 112 ルカ 16:9-15

・14 時 / 16 時　洗礼の学び

8 日(日) 聖霊降臨後第 24 主日（特定 27)
7 時半　聖餐式
9 時 15 分　こどもとともにささげる礼拝
10 時半　聖餐式
アモ 5:18-24　詩 70　Ⅰテサ 4:13-18
マタ 25:1-13　聖歌 492, 58, 512. 238, 457
17 時　夕の礼拝　聖歌 317
詩 34　エズ 10:1-17　Ⅰコリ 14:1-12

・愛餐会

【注意】教会内施設、和室など、電気やエアコンの消し忘れ、鍵の閉め忘れがたびたび見受けられます。使用された方は、必ず最後の確認をお願いいたします。

今週のメッセージ

今日の福音で、イエス様はこう語られます。「悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」「幸いである」と訳されているギリシャ語は「マカリオイ」です。この言葉には、単に運がよいということではなく、「満たされている」「祝福されている」「神様の恵みの中に置かれている」という豊かな意味があります。ところで、この言葉から少し意外な食べ物を連想することができます。「マカロニ」です。諸説ありますが、「マカロニ」という名前も、「幸い」「祝福された」という意味をもつ言葉と結びつけて説明されることがあります。「幸せな食べ物」とでも言ったらよいでしょうか。

確かに、寒い日に温かいマカロニグラタンを食べると、少し幸せな気持ちになりますね。これからマカロニを食べるときには、今日のみ言葉を思い出してください。「マカリオイ！ 幸いなるかな。」

しかし、イエス様は意外な人々を「幸い」と呼ばれます。「悲しむ人々は、幸いである。」

もちろん、悲しむことそのものが幸せなのではありません。大切な人との別れが幸いなのでもありません。大切なのは、その後に続く言葉です。「その人たちは慰められる。」

「慰める」という言葉には、「そばに呼ぶ」「そばで声をかける」という意味があります。そして、その慰めの源には神様がおられます。ですから、この言葉を少し膨らませるなら、「幸いだ。大切な人を失い、悲しみ、涙を流している人たち。神様があなたのそばに立ち、声をかけてくださるから。」と聞くことができるのではないでしょうか。

神様は、「もう泣かなくていい」と急かされません。私たちが泣いている、その場所に来て、そばにいてくださいます。そして時には、隣にいる人を通して声をかけてくださいます。「寂しいですね。」「私もあの方を覚えていますよ。」「こんなことがありましたね。」そんな何気ない言葉から、懐かしい人の思い出を一緒に語り、涙を流しながらも笑顔になることがあります。それもまた、神様から与えられる慰めなのでしょう。

そして、これこそ「聖徒の交わり」なのだと思います。先に天に召された人々も、今ここにいる私たちも、同じ神様の愛の中に結ばれています。愛する人の姿が見えなくなっても、その人からいただいた言葉、笑顔、優しさは、今も私たちの中に生き続けています。

昨日の青山墓地での礼拝、諸聖徒日、諸魂日、そして小平をはじめ各地で墓地礼拝を行う 11 月を迎えます。「悲しみながらでもよい。」「涙を流しながらでもよい。」そして時には、懐かしい思い出を語りながら笑ってもよいのです。

「悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」今、悲しみの中にいる人々のそばに神様が立ち、優しく声をかけてくださいますように。そして私たちもまた、誰かのそばに立ち、ともに泣き、ともに笑いながら、神様の慰めを分かち合う者となれますように。

そして今度、マカロニを食べるときには思い出してください。「マカリオイ！ 幸いなるかな。」

私たちは、悲しみの中にあっても決して一人ではありません。神様がいつも私たちのそばにいてくださるからです。（司祭 卓 志雄）